



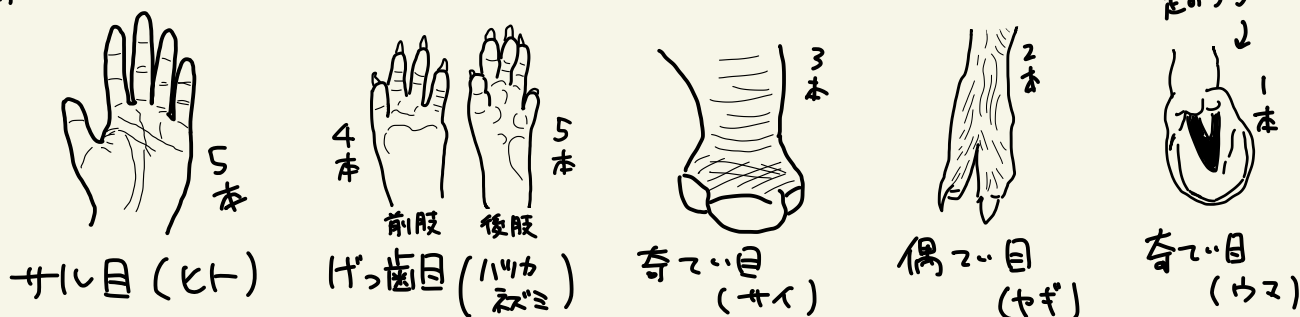
イモリしんぶん 質問受付コーナー3.1

Q：①イモリの指の数はわれわれとは違いますが何か理由があるのでしょうか？

A：たまたまです。

生物の指の数ですが、そもそもわれわれ哺乳類でもけっこう多様性があります。哺乳類の基本は5本指なのですが、進化の過程で指の本数を減らしているグループもあり、それにより指の数に多様性があります（指の本数を増やすことは絶対にできません）。

哺乳類の指（5本～1本）

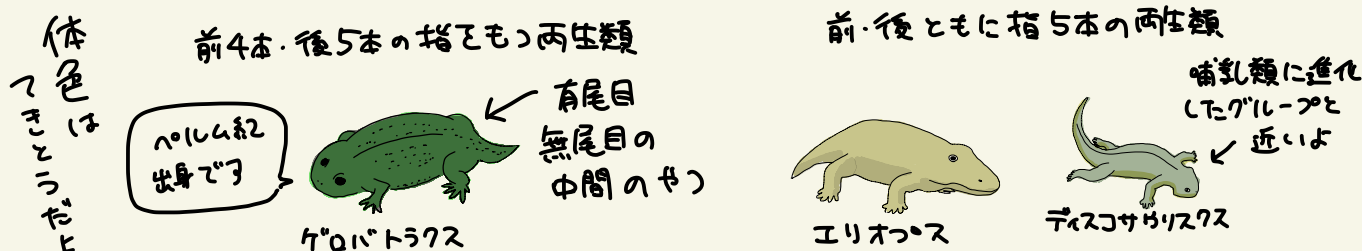


哺乳類で例を出しましたが、5本指が基本であることは鳥類、爬虫類、両生類でも同様です。魚類から両生類へ進化したグループの指の本数が5本だったため、両生類や両生類から進化したグループでは5本指が採用されています。しかし、環境や生活スタイルにより、指の本数を減らしている動物も多いです。

両生類の場合

両生類の指の本数ですが、前肢の指は4本、後肢の指は5本です。これは、イモリだけでなくカエルやその他の両生類でも共通しています。

ここからはおそらくの話になりますが、両生類にも元々指の本数の多様性はある程度あったのではないかと考えられます。現生の両生類に進化したグループでは、前肢4本指、後肢5本指が採用されていました。しかし、長い地球史の中で現生両生類のグループ以外は絶滅してしまい、結果として両生類の指の本数は今のようなかたちになったんだと考えられます。



参考文献

引用元:「シームリア」、岩波 生物学辞典 第5版(岩波書店)、ジャパンナレッジschool、<http://school.japanknowledge.com>、(参照日:2023年12月6日)

引用元:「エリオプス」、日本大百科全書(ニッポニカ)(小学館)、ジャパンナレッジschool、<http://school.japanknowledge.com>、(参照日:2023年12月6日)

飯島正弘、土屋公幸、斉藤博「リスネズミハンドブック」株式会社文一総合出版、2015年4月1日初版発行。

その他、たくさんの動物園の動物たちの写真を参考にしています。